第4章

再生/削除する

基本的な再生のしかた

記録したファイルの基本的な再生方法や、テレビを利用した再生方法について説明します。

カメラで再生できるデータについて

カメラで再生できるファイルは、次のデータです。
・本機で記録したデータ
・パソコンから転送したデータ

補足
・再生できないデータは、「UNMATCHED FILE」のメッセージが表示されます。
・デジタルカメラDC-3/DC-4シリーズ・RDC-5000シリーズ、RDC-200G、RDC-7（リコー製）で記録したデータも表示できます。
ただし、RDC-7のPROモードの非圧縮で撮影したファイルは、再生できません。

静止画 / 文字 / 連写ファイルを再生する

（静止画）、（文字）、（連写）で記録したファイルや、音声付きの静止画や文字を再生します。

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせ、CARD/IN キーで再生元を選びます。

最後に記録したファイルが再生されます。

補足
・必要に応じて、どのフォルダーのファイルを再生するか、再生するフォルダーを切り替えます。→P.100「フォルダーを選択する」

❷ ・を操作して再生するファイルを選びます。

は前のファイル、は次のファイルを表示します。押し続けると連続して進みます。



●キー操作

▲・▼キーを押します。▲キーは前のファイル、▼キーは次のファイルを表示します。押し続けると連続して進みます。

●音声付き静止画 / 文字のとき



音声を再生するときは、シャッターボタンを押します。
自動で音声ファイルの再生は終了します。また、シャッターボタンを押すと再生を中断できます。再度押すと再開されます。

補足 ・◀・▶キーを押すと音量の調節ができます。→P.85「音声ファイルを再生する」

●再生画面について

次の画像サイズで撮影すると、液晶モニターやテレビモニター上での画面表示は以下のようになります。

2048 2048×1536　　1024 1024×768　　640 640×480



補足 ・メディアの容量によっては、電源の投入やモードダイヤルを変更してから、ファイルを再生するまでに時間がかかることがあります。
・▭（連写）で撮影したファイルも、それぞれ１ファイルとして記録されるため、通常のファイルと同じように再生できます。

音声ファイルを再生する

🎙（音声）で記録したファイルを再生します。

重要 ・スピーカーは操作パネル上にあります。カメラの向きを調整して再生してください。

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせ、CARD/IN キーで再生元を選びます。

補足 ・必要に応じて、どのフォルダーのファイルを再生するか、再生するフォルダーを切り替えます。→P.100「フォルダーを選択する」

❷ ◎・◎を操作して音声ファイルを選び、シャッターボタンを押します。



●キー操作

▲・▼キーを押します。

音声が再生され、再生中を表すインジケーターや経過時間が表示されます。

自動で音声ファイルの再生は終了します。また、シャッターボタンを押すと再生を中止できます。

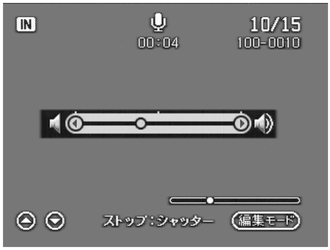
●再生を中断するとき

再生中、シャッターボタンを押すと再生が中断され、再度押すと再開されます。

中断中は、ズームレバーを押し続けると早送り（[♠]側）や巻き戻し（[♠]側）ができます。

●音量を調節するとき

再生中、◀・▶キーを押すと音量調節インジケーターが表示されます。◀・▶キーを押して音量を調節します。



補足 ・録音/録音可能時間が100分を越える場合、液晶モニターや液晶パネルには秒の１桁目は表示されません。

動画ファイルを再生する

（動画）で記録したファイルを再生します。

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせ、CARD/IN キーで再生元を選びます。

補足 ・必要に応じて、どのフォルダーのファイルを再生するか、再生するフォルダーを切り替えます。→P.100「フォルダーを選択する」

❷▲・▼を操作して動画ファイルを選び、シャッターボタンを押します。



●キー操作
▲・▼キーを押します。

動画が再生され、再生中を表すインジケーターや経過時間が表示されます。
自動で動画ファイルの再生は終了します。また、シャッターボタンを押すと再生を中止できます。

●再生を中断、再開するとき
再生中、シャッターボタンを押すと再生が一時中断され、再度押すと再開されます。

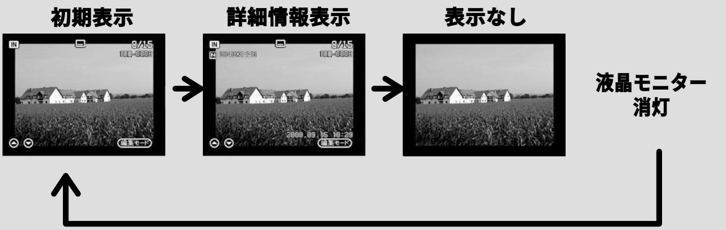
●コマ送り / 戻し、スロー再生 / 逆スロー再生する
再生の中断中、ズームレバーを▶▶側に押すと1コマ進み、◀◀側に押すと1コマ戻ります。また、ズームレバーを▶▶側に押し続けるとスロー再生、◀◀側に押し続けると逆スロー再生ができます。

補足　・◀・▶キーを押すと音量の調節ができます。→P.85「音声ファイルを再生する」

コラム

画面表示について（再生モード）
DISPLAYキーを押すたびに、記録した日付や時刻、画質モードなどの情報表示を切り替えることができます。

●静止画/文字/連写ファイルのとき

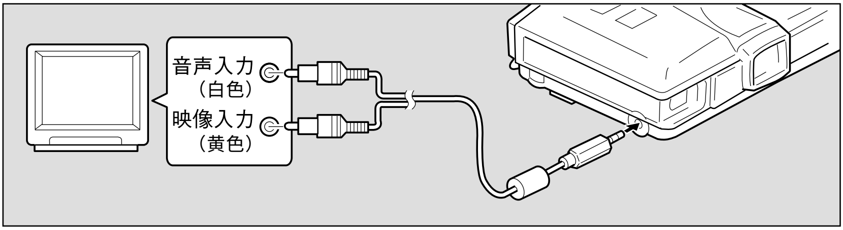


＊音声ファイルや動画ファイルの場合、初期表示や詳細情報表示時に🎤、🎥、経過時間、インジケーターが表示されます。
＊表示なしの場合でも、画面下のコマ送りやコマ戻し、編集モードの位置をタッチすると機能します。

テレビを使って再生する

同梱のAVケーブルをカメラとテレビに接続すると、記録したファイルをテレビで再生することができます。

参照
・接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。



❶ **カメラ本体とテレビの電源が切れていることを確認します。**

❷ **カメラのAV出力端子にAVケーブルを接続します。**

❸ **AVケーブルのもう一方を、テレビの映像入力端子と音声入力端子にしっかりと接続します。**

長時間お使いになるときは

ACアダプター（別売り）を使って、家庭用コンセントから電源をとることをお勧めします。→P.18「ACアダプターを接続する」
＊ACアダプターは、必ずカメラの電源が切れている状態で接続してください。

補足
・海外旅行などで、PAL方式のテレビで再生することができます。→P.119「ビデオ方式を変更する」
・テレビに接続すると、カメラの液晶モニター表示の状態で、そのままテレビモニターに映ります。
・ビデオ方式をPAL方式に切り替えたときは、AVケーブルを接続すると液晶モニターには画面表示されません。
・テレビモニターによっては、表示される範囲が異なることがあります。
・画像サイズによっては、全情報が表示されないことがあります。

いろいろな機能を使って再生する

ここでは、いろいろな再生機能について説明します。

編集モードに切り替える

編集モードに切り替えると、複数ファイルを一度に表示したり、拡大や回転など、いろいろな再生機能を利用できます。ペンを使って、次のように操作します。

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせ、CARD/IN キーで再生元を選びます。

❷［編集モード］をタッチします。

●キー操作
ENTER キーを押します。



編集モードに切り替わります。



❸ 操作が終了したら、［編集終了］を選びます。
編集モードが終了し、通常の再生画面に戻ります。

１ファイルずつ表示する（１枚表示）

１ファイルずつ表示します。

❶ 編集モードに切り替えます。
編集モードに切り替わり、１枚表示になります。

参照 ・P.89「編集モードに切り替える」

❷ ▲・▼を操作して再生するファイルを切り替えます。

▲は前のファイル、▼は次のファイルを表示します。

画面上のマーク（ ・ ）は、添付ファイルです。→P.27「再生モードのとき」



●キー操作

▲・▼キーを押します。

複数ファイルを一度に表示する（サムネイル表示）

９ファイルずつ表示します。見たいファイルをすばやく検索できます。

❶ 編集モードに切り替え、ペンで を選びます。

サムネイル表示に変わります。

参照 ・P.89「編集モードに切り替える」



❷ ペンで▲・▼を選び、再生するファイルを切り替えます。

▲は前の９ファイル、▼は次の９ファイルを表示します。

フォーカスが当たっているファイルは選択ファイルを表します。ペンでタッチするか、▲・▼キーで選択ファイルを移動できます。



❸ を選びます。

１枚表示に戻ります。サムネイル表示時の選択ファイルが表示されます。

補足
- 再生できないファイルは黒色の画面表示になります。水色の画面表示のときは、 は音声ファイル、 は文字ファイルを表します。
- サムネイル画面上の は動画ファイル、 は添付ファイルを表します。
- 選択ファイルが上段左端のとき、▲キーを押すと前の９ファイル、下段右端のとき▼キーを押すと次の９ファイルを表示します。

拡大して表示する（拡大表示）

ファイルを縦横に拡大して表示し、撮影時のブレなどを確認できます。画像サイズによって、次の倍率で表示できます。

- 2048 ：1.4 倍、2.7 倍
- 1024 ：1.4 倍、2.7 倍
- 640 ：1.7 倍

❶ 編集モードに切り替え、ペンで［拡大］を選びます。

拡大表示に変わります。



参照 ・P.89「編集モードに切り替える」

❷ ペンを画面上でドラッグして、表示領域を移動します。



補足 ・緑色の▲・▼・◀・▶をタッチすると、表示領域を上下左右に移動できます。

●倍率を変えるとき

拡大するときは、［拡大］をタッチするごとに倍率を変更できます。縮小するときは、［縮小］をタッチします。

補足
- 拡大表示は、1 枚表示のときに利用できます。サムネイル表示ではできません。
- 拡大表示できるのは、静止画ファイル、文字ファイル、添付ファイル付き静止画 / 文字ファイルです。

ファイルをコピー / 移動する

メディア間でファイルをコピーまたは移動します。選択したファイル、またはフォルダー単位にコピーや移動ができます。

重要
・プロテクトが設定されたファイルを移動しても、移動元のファイルは削除されません。
・コピー先/移動先の容量が不足しているときは、「容量不足です」とメッセージが表示されます。不要なファイルを削除するか、新しいカードをセットしてから操作してください。

❶ 編集モードに切り替えます。

・ファイルを選択してコピー/移動する→P.92

・フォルダー単位にコピー / 移動する→ P.93

参照 ・P.89「編集モードに切り替える」

■ファイルを選択してコピー / 移動する

❶ コピー/移動するファイルを表示し、を にします。

複数ファイルを選択するときは、手順❶を繰り返します。

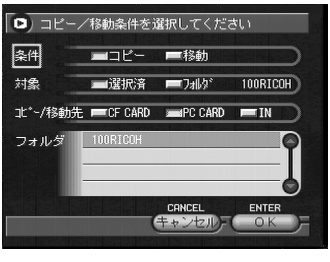


●サムネイル表示のとき

コピー / 移動するファイルの を にします。複数ファイルを選択できます。

❷［コピー / 移動］を選びます。

❸ 条件（コピー・移動）を選びます。



❹ 対象で［選択済］を選びます。

手順❶で選択したファイルがコピー / 移動の対象になります。

❺ コピー/移動先（CF CARD・PC CARD・IN）を選びます。

参照 ・P.33「（ラジオボタン）の使い方」

❻ **コピー / 移動先の対象となるフォルダーを指定し、[OK] を選びます。**
コピー/移動が開始され、終了後、メッセージが表示されます。

❼ **[OK] を選びます。**
編集モードに戻ります。



補足 ・ をチェックしていない場合、1枚表示のときは現在表示しているファイル、サムネイル表示のときは選択ファイルがコピー/移動の対象になります。

■フォルダー単位にコピー / 移動する

❶ **[コピー / 移動] を選びます。**



❷ **条件（コピー・移動）を選びます。**

❸ **対象で [フォルダ] を選びます。**
現在表示されているフォルダー内のすべてのファイルがコピー / 移動の対象になります。



❹ **コピー/移動先（CF CARD・PC CARD・IN）を選びます。**

参照 ・P.33「 (ラジオボタン) の使い方」

❺ **コピー / 移動先の対象となるフォルダーを指定し、[OK] を選びます。**
コピー/移動が開始され、終了後、メッセージが表示されます。

❻［OK］を選びます。
編集モードに戻ります。



補足　・同一メディア内でフォルダー単位のコピー / 移動はできません。

画像を編集する

撮影した画像を編集します。必要な部分だけを切り取るトリミングや、画像サイズの変更、回転表示などができます。

補足　・編集したファイルは、電源をオフにしても記憶されています。次回電源をオンにすると編集した内容で再生されます。
・画像編集できるファイルは、本機で撮影した静止画ファイル、文字ファイル、添付ファイル付き静止画 / 文字ファイルです。
・編集した画像は、新しいファイルとして保存されます。

❶ 編集モードに切り替え、［画像編集］を選びます。



参照　・P.89「編集モードに切り替える」

画像編集メニューが表示されます。
- **トリミングする→ P.95**
- **画像サイズを変更する→ P.95**
- **回転する→ P.96**



補足　・を選ぶと、操作を取り消して編集モードに戻ります。

■トリミングする

矩形の範囲を指定して画像をトリミングします。撮影時の不要な部分をカットして、必要な部分だけを切り取ることができます。

❶［トリミング］を選びます。



❷ トリミングする矩形の始点（左側①）をペンでタッチします。

❸ 矩形の終点（右下②）をペンでタッチします。

指定した範囲が点線で表示されます。



補足 ・トリミングの指定をやり直すときは、［やりなおす］を選びます。手順❷・❸を操作し直してください。

❹［OK］を選びます。

指定した範囲がトリミングされ、編集モードに戻ります。



■画像サイズを変更する

画像サイズを1/2、1/3、1/6、1/12に縮小します。ファイルサイズを小さくし、パソコンへの転送時間を短縮できます。

❶［サイズ変更］を選びます。



❷ **画像サイズ（1/2・1/3・1/6・1/12）を選んだ後、［OK］を選びます。**

指定した画像サイズに変更され、編集モードに戻ります。



●画像サイズについて

DISPLAY キーを押して詳細情報表示にすると、変更後の画像サイズを確認できます。
なお､元の画像サイズによって､変更後の画像サイズは異なります。



変更後の画像サイズ

■回転する

記録したファイルを右 90 度、左 90 度に回転して表示します。

❶ **［右 90 度回転］または［左 90 度回転］を選びます。**



指定した角度で表示されます。

右90度に回転したとき



ファイルにメモや音声を加える

記録したファイルに、メモや音声などを追加できます。メモの種類は、テキストメモ、アフレコ（音声メモ）、手書きメモの３種類です。

❶ 編集モードに切り替え、［メモ］を選びます。



参照 ・P.89「編集モードに切り替える」

メモメニューが表示されます。

・テキストメモを加える→ P.97
・アフレコ（音声メモ）を加える→ P.98
・手書きメモを加える→ P.99



補足 ・ を選ぶと、操作を取り消して編集モードに戻ります。

■テキストメモを加える

ソフトキーボードを使って、ファイルにテキストメモを追加します。タイトルや撮影状況など、コメントの入力に便利です。

❶［テキストメモ編集］を選びます。



❷ を選び、ソフトキーボードを使ってメモを入力します。

全角で 20 文字まで入力できます。



参照 ・P.35「ソフトキーボードを使う」

❸［保存］を選びます。

入力したテキストメモが保存され、編集モードに戻ります。

補足 ・テキストメモのファイル形式は、テキストファイル（.TXT）です。

■アフレコ（音声メモ）を加える

静止画ファイルまたは文字ファイルに、音声を約10秒間追加できます。

❶［アフレコ］を選びます。



●すでに録音されているとき

選択したファイルに、すでにアフレコが録音されている場合、メッセージが表示されます。上書きしてよければ［OK］を選び、アフレコを録音してください。

録音を取り消すときは、［キャンセル］を選びます。



❷シャッターボタンを押します。

録音が開始されます。「録音中です」のメッセージが表示され、液晶パネルの🎙が点滅します。終了すると編集モードに戻ります。



補足 ・録音中、再度シャッターボタンを押すと記録を終了します。
・アフレコされたファイルのファイル形式は、WAVファイル（.WAV）です。

■手書きメモを加える

記録したファイルにフリーハンドで描いたメモを追加します。描いた手書きメモは、次の2つの方法で保存できます。

メモ編集名	内　容
単独編集	手書きメモだけを単独で保存します。ファイル形式は、TIFFファイル（.TIF）です。
合成編集	手書きメモを画像に合成して保存します。ファイル形式は、元の画像と同じ形式になります。

補足　・手書きメモを加えると、新しいファイルとして保存されます。

❶［手書きメモ単独編集］、［手書きメモ合成編集］のいずれかを選びます。



❷ツールパレットを使って手書きメモを描きます。

参照　・P.38「ツールパレットを使う」

●［手書きメモ単独編集］のとき



●［手書きメモ合成編集］のとき



❸［保存］を選びます。

手順❶で選択した方法で手書きメモが保存され、編集モードに戻ります。

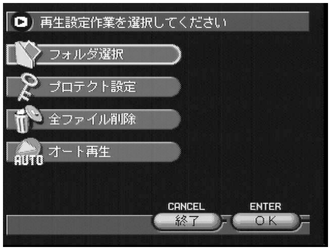
補足　・作成した手書きメモを編集することはできません。
・2048サイズの画素数で撮影した画像に手書きメモ合成編集を行った場合、1024サイズに変換して保存します。
・手書きメモ合成編集を行った場合、メモの内容によって処理に数分かかることがあります。

フォルダーを選択する

再生モードに切り替えたとき、どのフォルダー内の画像を表示するかを設定します。

❶ MENU キーを押します。

❷［フォルダ選択］を選びます。



❸ 表示するフォルダーを選んだ後、[OK]を選びます。

フォルダーが設定され、再生画面に戻ります。

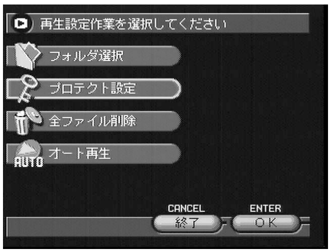


プロテクトを設定する

大切なファイルを誤って削除してしまわないよう、プロテクト（誤消去防止）を設定できます。

❶ MENU キーを押します。

❷［プロテクト設定］を選びます。



❸ プロテクトするファイルを表示し、［プロテクト］を選びます。



操作を繰り返すと、続けてプロテクトを設定できます。

●サムネイル表示のとき

ペンでタッチするか、▲・▼キーでプロテクトするファイルを選んだ後、［プロテクト］を選びます。

❹ ［戻る］を選びます。

プロテクトが設定され、再生画面に戻ります。プロテクトされたファイルには、が表示されます。



●プロテクトを解除するとき

プロテクト設定メニュー（手順❸）で、プロテクトが設定されたファイルを選び、［プロテクト解除］を選びます。

重要

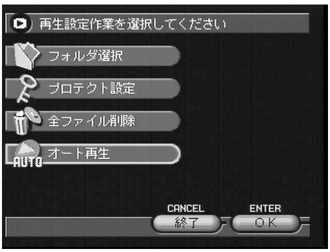
・メディアをフォーマットすると、プロテクトされているファイルも削除されます。

自動で再生する（オート再生）

メディア内のすべてのファイルを自動で再生します。

❶ MENU キーを押します。

❷ ［オート再生］を選びます。



❸ 再生間隔を指定します。

１ファイルの再生時間を、1～99 秒の範囲で指定します。

参照 ・P.34「(スピンボックス) の使い方」



❹ ループ再生（する・しない）を選びます。

繰り返し再生するかどうかを指定します。

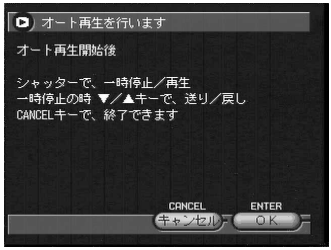
参照 ・P.33「(ラジオボタン) の使い方」



❺［再生］を選びます。

❻［OK］を選びます。

指定した時間でオート再生が開始されます。CANCEL キーを押すと、オート再生を終了します。



●オート再生を中断、再開するとき

シャッターボタンを押すと、オート再生が一時停止され、再度押すと再開されます。

●ファイルの送り / 戻しをするとき

オート再生の中断中、▼キーを押すと１ファイル進み、▲キーを押すと１ファイル戻ります。

補足 ・再生時間には、ファイルを呼び出している時間は含まれません。
・音声付き静止画 / 文字ファイル、動画ファイル、音声ファイルは、設定した再生時間にかかわらず、記録した録音時間や 録画時間で再生されます。

プリントサービスの設定をする

CFカードまたはPCカード内のファイルをデジタルプリントサービスでプリントする際、プリント枚数やインデックス枚数の設定を行います。設定後、デジタルカメラプリントサービス取り扱い店にお持ちいただくと、指定した情報通りのプリントサービスが受けられます。

補足
・プリントサービスの設定を行うには、メディアにファイル１〜２枚分の空き容量を残してください。
・プリントサービス設定後は、記録や削除などの設定を一切行わないでください。行った場合は再度設定し直してください。

❶ 編集モードに切り替え、を選びます。



参照
・P.89「編集モードに切り替える」

DPOF 設定メニューが表示されます。



・プリント枚数を指定する→ P.103
・インデックス枚数を指定する→ P.104
・DPOF 設定を解除する→ P.105

■プリント枚数を指定する

❶ 枚数を指定するファイルを表示し、プリント枚数を指定します。

操作を繰り返すと、続けてプリント枚数を指定できます。



●サムネイル表示のとき

ペンでタッチするか、▲・▼キーで枚数を指定するファイルを選び、プリント枚数を指定します。

参照
・P.34「(スピンボックス) の使い方」

補足
・指定を取り消すときは、プリント枚数を０にします。

❷ **［登録］を選びます。**

プリント枚数が指定され、編集モードに戻ります。

■インデックス枚数を指定する

フォルダー内のすべてのファイルを縮小してプリント指示できます。インデックスプリントといい、フォルダー内のファイルを一覧で確認したり、プリント枚数を指定するときの目次として利用できます。

❶ **DPOF設定メニューで［DPOFメニュー］を選びます。**



❷ **［インデックス枚数］を選びます。**

補足 ・を選ぶと、操作を取り消してDPOF設定メニューに戻ります。



❸ **インデックス枚数を指定し、［OK］を選びます。**

DPOF設定メニューに戻ります。

参照 ・P.34「(スピンボックス) の使い方」

補足 ・設定を取り消すときは、インデックス枚数を0にします。



❹ **［登録］を選びます。**

インデックス枚数が指定され、編集モードに戻ります。

■ DPOF 設定を解除する

プリント枚数やインデックス枚数など、DPOF 設定をすべて取り消します。

❶ DPOF設定メニューで［DPOFメニュー］を選びます。



❷［全クリア］を選びます。

確認の画面が表示されます。

補足 ・ を選ぶと、操作を取り消して DPOF 設定メニューに戻ります。



❸ シャッターボタンを押します。

DPOF設定がすべて取り消され、DPOF設定メニューに戻ります。

❹［キャンセル］を選んで DPOF 設定メニューを終了します。



プレゼンテーションの作成 / 再生する

プレゼンテーションは、選択した複数のファイルを指定した間隔で自動再生する機能です。

新しいプレゼンテーションを作成する

プレゼンテーションを新規に作成します。どのファイルを自動再生するか、ファイルの選択や再生順を設定します。

❶ 編集モードに切り替えます。

参照 ・P.89「編集モードに切り替える」

❷ プレゼンテーションで使用するファイルを表示し、を にします。

複数ファイルを選択するときは、手順❷を繰り返します。

●サムネイル表示のとき

プレゼンテーションで使用するファイルのを にします。複数ファイルを選択できます。



❸ Jキーを押します。

❹［プレゼンテーション新規作成］を選びます。



❺ を選び、ソフトキーボードを使ってプレゼンテーション名を入力します。

❻ 再生時間を指定します。

１ファイルの再生時間を、1～99秒の範囲で指定します。



参照 ・P.35「ソフトキーボードを使う」
・P.34「(スピンボックス）の使い方」

❼［編集］を選びます。

❽ プレゼンテーションの内容を編集します。

●ファイルを追加する

プレゼンテーションに使用するファイルを追加します。
［フォルダ］のを選び、リストから追加するファイルの保存フォルダーを選びます。下段の［ファイル］から追加するファイルを選び、［追加］を選びます。



●再生順を並べ替える

自動再生の順番を変更します。
リストから並べ替えるファイルを選んで［▲上］または［下▼］を選びます。選択したファイルが上または下に移動します。



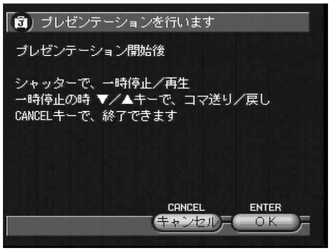
●ファイルを削除する

使用しないファイルを削除します。
上段のリストから削除するファイルを選び、［削除］を選びます。

❾ 編集後、［OK］を選びます。

プレゼンテーションが作成され、プレゼンテーション再生画面が表示されます。

［OK］を選ぶとプレゼンテーションが開始されます。［キャンセル］を選ぶと、再生せずにメニュー画面に戻ります。



補足 ・CFカードまたはPCカードのファイルを混在して指定することはできません。
・をチェックしていない場合、１枚表示のときは現在表示しているファイル、サムネイル表示のときは選択ファイルが対象になります。
・プレゼンテーションは、PowerPointなどで作成したファイルをパソコンから取り込み、カメラで自動再生することもできます。→パソコンとの連携編「コラム：MicrosoftPowerPointのプレゼンテーション資料を使う」

プレゼンテーションを再生する

プレゼンテーションを実行し、登録されている画像を自動再生します。

❶ 編集モードに切り替え、Jキーを押します。

参照 ・P.89「編集モードに切り替える」

❷［プレゼンテーション］を選びます。

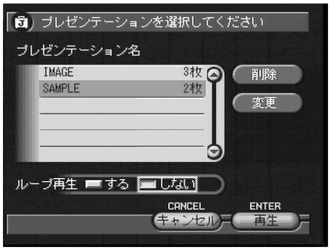


❸ 実行するプレゼンテーションを選びます。

❹ ループ再生（する・しない）を選びます。

繰り返し再生するかどうかを指定します。

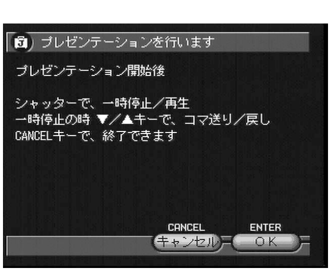
参照 ・P.33「（ラジオボタン）の使い方」



❺［再生］を選びます。

❻［OK］を選びます。

プレゼンテーションが開始されます。
CANCELを押すと、自動再生を終了します。



●自動再生を中断、再開するとき

シャッターボタンを押すと自動再生が一時停止し、再度押すと再開されます。

●ファイルの送り / 戻しをするとき
自動再生の中断中、▼キーを押すと１ファイル進み、▲キーを押すと１ファイル戻ります。

補足　・再生時間には、ファイルを呼び出している時間は含まれません。

■プレゼンテーションの登録内容を変更する

プレゼンテーションで使用するファイルの追加や削除、再生順など、登録内容を変更できます。

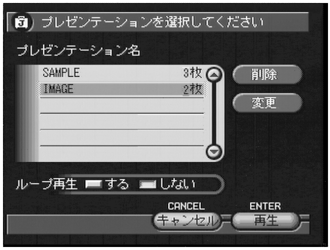
❶ 編集モードに切り替え、J キーを押します。

参照　・P.89「編集モードに切り替える」

❷［プレゼンテーション］を選びます。



❸ 変更するプレゼンテーションを選んだ後、［変更］を選びます。



❹［編集］を選びます。



●プレゼンテーション名を変更する
プレゼンテーション名を変更するときは、✎を選び、ソフトキーボードを使って入力し直します。

❺ プレゼンテーションの内容を変更します。

●再生順を並べ替える

自動再生の順番を変更します。
リストから並べ替えるファイルを選んで［▲上］または［下▼］を選びます。選択したファイルが上または下に移動します。



●ファイルを追加する

プレゼンテーションに使用するファイルを追加します。
［フォルダ］の▼を選び、リストから追加するファイルの保存フォルダーを選びます。下段の［ファイル］から追加するファイルを選び、［追加］を選びます。



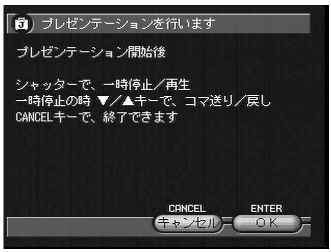
●ファイルを削除する

使用しないファイルを削除します。
上段のリストから削除するファイルを選び、［削除］を選びます。

❻ 登録内容の変更後、［OK］を選びます。

プレゼンテーションが変更され、プレゼンテーション再生画面が表示されます。

［OK］を選ぶとプレゼンテーションが開始されます。［キャンセル］を選ぶと、再生せずにメニュー画面に戻ります。



プレゼンテーションを削除する

❶ 編集モードに切り替え、J キーを押します。

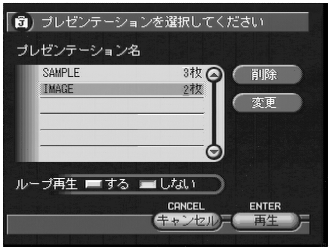
参照 ・P.89「編集モードに切り替える」

❷［プレゼンテーション］を選びます。



❸ 削除するプレゼンテーションを選んだ後、［削除］を選びます。

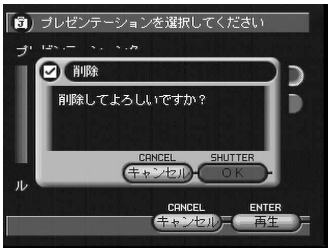
確認の画面が表示されます。



❹ シャッターボタンを押します。

選択したプレゼンテーションが削除されます。

補足 ・プレゼンテーションを削除しても、登録されているファイルは削除されません。



ファイルを削除する

記録したファイルを削除します。選択したファイル、またはフォルダー内の全てのファイルを削除できます。

重要
・削除したファイルは復元できません。ファイルの内容を十分に確認してから削除してください。

補足
・メディアの容量やファイルの種類によっては、削除に時間がかかることがあります。

ファイルを選択して削除する

選択したファイルを削除します。

❶ 編集モードに切り替えます。

参照 ・P.89「編集モードに切り替える」

❷ 削除するファイルを表示し、を にします。



複数ファイルを選択するときは、手順❷を繰り返します。

●サムネイル表示のとき

削除するファイルのをにします。複数ファイルを選択できます。

❸ を選びます。

確認の画面が表示されます。

❹ シャッターボタンを押します。

ファイルが削除され、編集モードに戻ります。



補足 ・ファイルを削除すると、以降のファイル番号が繰り上がります。
・プロテクトが設定されたファイルは削除できません。設定を解除してから削除してください。→P.100「プロテクトを設定する」

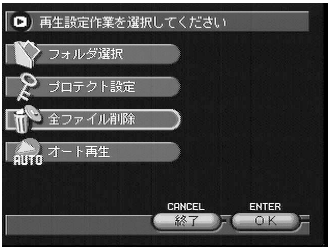
全てのファイルを削除する

フォルダー内の全てのファイルを削除します。

❶ MENUキーを押します。

❷［全ファイル削除］を選びます。

確認の画面が表示されます。



❸ シャッターボタンを押します。

フォルダー内の全てのファイルが削除され、編集モードに戻ります。



補足 ・プロテクトが設定されたファイルは削除できません。設定を解除してから削除してください。→P.100「プロテクトを設定する」